

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部 事務局の取組について



平成30年9月26日

beyond2020プログラムについて

◆beyond2020プログラムの趣旨（2017年1月末から認証開始）

- 2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化活動・事業を「beyond2020プログラム」として認証。
- ロゴマークの付与により、統一感を持って日本全国へ展開。

◆認証要件

- 日本の文化の魅力を発信する事業・活動
- 多様性・国際性に配慮した、以下のいずれかを含んだ活動・事業
 - ・障害者にとってのバリアを取り除く取組
 - ・外国人にとっての言語の壁を取り除く取組

◆ロゴマーク



認証件数 7,044件（平成30年9月7日時点）
うち、障害者芸術 87件

オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査について

大会の機運醸成に向けて、多言語対応・バリアフリー対応等に取り組む文化イベントについて、試行プロジェクトを実施することにより、その効果と課題を分析。

⇒文化におけるレガシーの創出につなげるとともに、東京大会の機運醸成を全国的に図っていく。

◆平成30年度実施概要

- 今年度は、1件当たり上限1,000万円のプロジェクトに加え、上限3,000万円のプロジェクトを新たに募集。
- 採択件数：10件（上限3,000万円：4件、上限1,000万円：6件）
- 採択案件は、beyond2020プログラムとして認証。

（参考）これまでの採択実績

平成28年度 32件（うち、障害者・バリアフリー関連 7件）

平成29年度 21件（うち、障害者・バリアフリー関連 4件）

beyond2020プログラム及びオリパラ基本方針推進調査の事業例

① 埼玉県

② 障害者アート展「いきるつくる」

③ 多様性 国際性

④ 旧埼玉県繊維工業試験場で、現在は市民の文化創造活動の拠点として利用されている「入間市文化創造アトリエ・アミーゴ」でのグループ展。

二科点への入選や、アパレル企業等の商品にデザインが採用される等の実績を持つ、才能あふれる県内の障害者アーティストによる絵画展を開催。「障害者アート」の魅力を伝えるとともに、障害者に対する「心のバリアフリー」を広める。



① 一般社団法人日本花火推進協力会

② HANABI Fes. 2020

③ 多様性 国際性

④ 名人花火師の指導の下、障害者の方が花火をデザイン。実際に打ち上げられた花火を会場で観覧。

(検証ポイント)

- ・屋外イベントにおける障害者参加の物理的なバリアへの対応
- ・当事者参加による心のバリアフリーのあり方

